

# コミネット宝木だより

## 「コミュニティの充実・身近な問題解決を目指して」

一年間お世話になります

豊かな自然が後世に引き次がれますように

### 平成24年 区長紹介

|     |             |                   |
|-----|-------------|-------------------|
| 上 光 | 森本高雄        | 各集落、地区活動の基となります。  |
| 下光元 | 植田徳幸        |                   |
| 夏ヶ谷 | 亀田 収        | 地域の皆様のご協力宜しく願います。 |
| 常 松 | 谷口秀雄        |                   |
| 富 吉 | 西村芳将        |                   |
| 宝 木 | 山根裕和 (幹事)   |                   |
| 水 尻 | 玉置純二        |                   |
| 奥沢見 | 谷中 篤 (敬称省略) |                   |



河内川に集まる水鳥

二十三年度を振り返って

副会長 浜田秀夫

平成二十三年度は三月十一日に発生した東日本大震災の災害復興であわただしく始まり、私たちは自然災害の恐ろしさや、脅威のなかでは人間は無力であることを改めて再認識させられました。この地震によって、一層まちづくりに力を入れて取り組まなければならぬと思います。人と人との繋がりをもういちど見直して活動をする事が大切だと感じました。私たちの活動の目標は「宝木地区の人々が幸せに暮らすこと、生きること」だと思っています。突然の不測の事態が起こっても心に余裕を持って対処できるように、ふれあいを大切に、思いやりをもって生活していきたいと思えます。

本年度のコミネット宝木の活動は、コミュニティの充実、地域の課題解決のために、コミュニティ計画策定し五つの小委員会のもと取り組みました。

生活環境 ふれあい市・生ゴミ

リサイクル・オアシス宝木への協力

自然環境 桜並木の整備・クリン活動

子どもを育てる 宝木っ子まつり・貝から節まつり・文化祭

防災防犯 災害時要援護者支援制度の取り組み

活性化 同窓会・啓発活動・通学時たより配布

まだまだ解決しなければならぬ諸問題があります。今年度も地区の人たち、各種団体などと連携を深めながら一歩ずつ前進していこうと考えています。私たちの町が「やすらぐ、すみよい、元気なまち宝木」であるように活動していこうと思っておりますので皆様の御協力・参加をよろしく願います。

当初よりこの「宝木地区まちづくり協議会」を牽引していただきました水石裕士さんが、昨年十二月に永眠されました。心よりの感謝とご冥福をお祈りいたします。

■上光の買い物難民 酒津の大坪さんの好意によって木曜日の朝、上光公民館で移動販売が始まった。最初は大勢のお年寄りで好調であったが、秋も深まり寒さが厳しくなると、買い物客が減少し十二月末で閉店となった。残念である。

■宝木の買い物難民 六月、県の「支え愛」事業の補助金が決まり、八月には「宝木を考える会」が立ち上がり、いよいよ十一月十九日に「オアシス宝木」がオープンした。菓子・食料品・乳製品・肉類・野菜類



が店頭に並び、大坪さんの移動販売、吉田大洋堂さんなどと相まって買い物に少し便利になった。奥の和室二間でサロンも開設され住民が寄り合い易くなり、月に一回程度ではあるが

イベントも行われている。人が寄り合う様な「オアシス宝木」の発展を願っている。

■ふれあい市 宝木地区公民館で年四回のふれあい市を開催している。出店も多くなり、買い物客も回を重ねることに多くなり盛況である。



■健康ウォークでは気高町が主催する「健康ウォーク」では気高中学に初めて出店したが、好評であった。現在、五月ごろに開催する予定の「二十四年度第一回ふれあい市」の準備にかかっている。

■生ごみのリサイクル 生ごみの減量と有機肥料を狙った好事業であるが、生ごみの収集が鳥取市に広くまたがった縄張りの都合で実施が困難となっている。行政と連携を密にしながら進めたい事業であると委員会では期待している。

「コミネット宝木第十二号」でお知らせしましたとおり、河内川の土手に桜の木を植樹し、

桜土手の復活という夢を実現したいと強く願っています。



県に相談していたところ、いろいろと指導をしていただき、その条件を一つずつクリアすることにより、植樹が可能となってきました。

少々条件を列挙すると、  
一、川面の反対側に植樹  
二、植樹計画の提出  
三、田の地権者の了解など  
植樹計画の作成に当たっては



■苗木の本数

二十本（十日間隔）

■指導

片山庭園

- ・方法
- ・肥料
- ・時期
- ・その後の管理方法

十一月五日（土）、一九（土）の二日間、冷たい雨降りの下、無事植樹が完了しました。

下草刈り、真夏の水やりそして低木や花の苗の植え付けなどをしていたと、年中人の集まる場所となるのではないのでしょうか。

楽しく桜見物するためにも、今後、皆様のご



■植樹するのにか

小学校から見えるという

協力により立派に育てたいと思っています。





子どもを育む環境小委員会

山本寿美子

公民館育成部、集落子ども会と協力し三つの事業に取り組みでまいりました。



盛り上がり者の表情やに早々充実していく確かな手ごたえが感じられました。

■宝木っ子まつり 七月三十一日

では、ひかり保育園の年長児と保護者、ふれまちの方が加わり一七一名が砂像づくり、地曳網にがんばり、好い汗を流しま

■貝がら節まつり 八月六日は

最初から最後まで参加者全員熱のこもった踊りは、三年連続の大賞となつて、一人一人の顔が喜びと自信に満ちていました。



■地区文化祭 十月二十三日は

盛りだくさんのイベントに大人も子どももふれあいの輪が広がりました。また、「みんな



で考える子育て、家庭で、地域でできること」の栗木剛さんの講演は、聞き手と

同じ目線に立って熱っぽく、時に冗談を交えながらの話術は、聞く人の心をつかんで、多くの子育てのヒントをいただきました。

■尚と

の事業にも一層の子どもの参加を望んでいます。楽しかった思い出として心に残ると思います。



防犯防災対策委員会

吉村文夫

昨年三月十一日の東日本大震災から早くも一年経ちました。以後、防災に関する様々な情報が溢れ、あれもこれもと模索しているうちに、年度当初の計画も具体化出来ませんでした。

■ハード面の立案、そして地域の人の安全をどう守るかという

■ソフトの面の二点に絞って二十四年度は集約していきたいと思ひます。

住民の方の経験と英知をいただき宝木地区の安全確保対策にご支援をいただきますようお願いいたします。

活性化対策小委員会

北村公

今年度は、昨年の活動プラス、「ジグおいしマップ」「びんくら

取り組むこととなりました。

■宝木駅での高校生を中心としたチラシ配布、若者の地域参加を求めている同窓会開催は、ゆるやかではあるが定着しつつあります。宝木地区の活性が目的の当委員会では将来が楽しみになってきました。

■マップづくりでは、骨子はでき内容の充実、写真の準備と進んでいます。平成二十四年度は、マップづくりをとおし、地域の皆様の協力を得ながらコミネット



の啓発、周知に努めてきたいと思ひますので宜しくお願ひいたします。





オアシス宝木運営委員 地原輝雄

新しいしめ縄で飾られた神棚、新調された冷蔵庫や陳列棚。それらに食料品、日用品が一杯に並べられている。居並ぶ関係者の前で厄払いと商売繁盛を願っての神職の祝詞が凛々しく響く。

かけ かしこ いざなぎ おおかみ  
「掛まくも畏き 伊邪那岐の大神……略  
…… 諸々の禍事、罪、穢有らんば 祓え  
たま きよ め かしこ  
給い清め給えと申す事を聞こし食せと 恐み  
かしこ もう  
恐みも申す」

多くの地域の人達、神妙に頭を垂れ聞きいつている。神事が終わるとやがて、「パタン、パタン」土間で威勢のいい餅搗きの音。和室のサロンの間でくつろいでいる人、又 店で商品の品定めをしている人等さわがしくなったその中で、搗き立ての餅が配られていく。大変なにぎわいだ。集まっている人達はほとんどが60才～70才代、少々恥ずかしそうではあるが餅を頬張り楽しそうに語り合う。どの人の顔も喜びに満ちた明るい笑顔だ。

これは、昨年11月19日、オープンした“翁庵志寿宝木”の門出の情景である。例外なく宝木地域も高齢化が進み元気がなく、しかも日常

# オアシス宝木

～憩い・潤い・賑わいの場を求めて～

の買物にも不自由するお年寄りが多くなった。こうした現状を少しでも解消できないものか、そうした思いに賛同した人達が集い、何回か話し合いする中で生まれたアイデアが、県の助成を利用した交流サロンと店舗の開設だった。

店舗の名称は“**翁庵志寿**”この4文字には地域の人達が多く集り、憩えるオアシスのような所という意味の他、高齢者(翁)が幸せ長生き(寿)を願って(志)集う場所(庵)という意味も含まれている。

ようやく3カ月余り、運営は店の売上で、まかなう計画ではあるが、軌道にのるまでは多くの方々の協力を得ながら仕入、店番などボランティア活動で頑張っているところである。この翁庵志寿を多くの方々に支えられ利用して頂くことによって更に充実したものへと発展させ、地域の拠点として活性化に繋がたら……そんな夢を抱いているところである。

あしがき  
発足し、三年経過しました。新しいものへの取り組みは、障害も多く、前進が危ぶまれた時期もありました。  
どのような状況下でも芯のおった指導力、また、人としての暖かさでコミネット宝木を導かれた故水石会長の突然の訃報はただただ呆然とするものでした。  
残された者の寂しさ、悔しさは、今後の活動で払拭したいものです。  
皆様の益々のご協力。ご指導宜しくお願い致します。  
絆を求めて。



オアシス宝木  
場 所 宝木(旧三牧商店)  
内 容 日用品・食料品販売  
高齢者サロン  
気軽に寄り合える場づくりです。おいでをお待ちしています。

